

7 災害時・緊急時における環境保全対策

海域における油流出事故や大規模地震などの突発的な事故や災害時において、有害物質や廃棄物等が発生・排出されることによる二次的な被害を最小限に食い止めるためには、初期の対応が最も重要であり、迅速かつ適切な対策が求められています。

このため、災害時・緊急時における環境保全対策のあり方などについて、調査・検討を行うことにより、国、自治体などの関係機関が一体となった緊密な連絡体制を整備し、迅速・的確な対応を図ります。

- 災害時・緊急時における大気・水質・土壌等の汚染や、海洋資源等への生態影響を調査します。
- 災害などの特性に応じ、早期に大気や水質等の緊急調査を実施し、速やかに結果を公表します。
- 二次的な環境汚染を防止するため、事業者の有害物質保有状況のデータベース化を図ります。
- 野生鳥獣の救護体制の整備を図ります。
- 自然環境の回復・復元等に関する技術的検討を進めます。